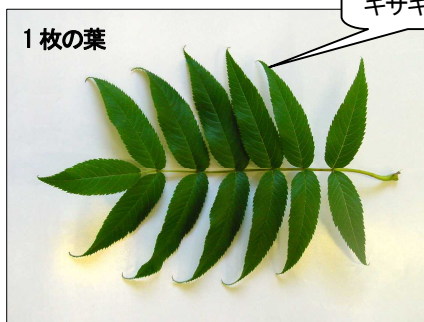


ナナカマド

バラ科 ナナカマド属 (落葉高木)

学名 : *Sorbus americana* 英名 : Japanese Rowan



細くて縁がギザギザ



・葉 : 奇数羽状複葉、小葉は長だ円状披針形で先が細く尖る

小葉は9~15枚、基部は円形、ふちは鋭重鋸歯、互生

・幹 : 皮は灰黒褐色、横に浅くさける皮目

・花 : 穂状につく白い花、緑色の実が赤くなる

・冬芽 : 互生、長だ円形で先端は尖る、3~4枚の芽鱗

頂芽は側芽よりやや大きく赤紫色

・七竈 : 「7回かまどで炊いても燃えない」は俗説

良質の炭を得るためには七日間竈にいれることから、あるいは7回竈を作り直しても

使える器を作ることができる → ナナカマド、「備長炭」の極上品

・花言葉「安全・慎重・用心」=交通安全の願いから街路樹に多い



タカネナナカマド

バラ科 ナナカマド属 (落葉低木)

学名 : *Sorbus sambucifolia* 英名 : (Mountain-ash)



・亜高山帯から高山帯に生育する

・葉 : 互生、羽状複葉、長だ円形の葉9~11枚、表面に光沢あり、先端は尖る

基部は切形か円い、平に開ききらない、ふちの全体が鋸歯

・花 : 白色で少し紅色をおびる

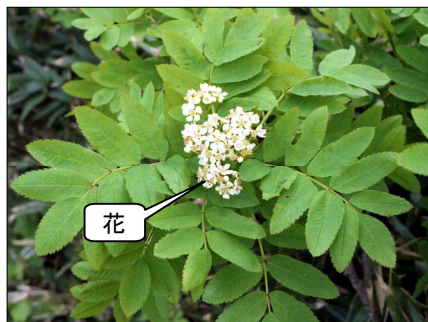
・果実 : だ円状球形、花序は下垂する

・葉痕 : V・U字形

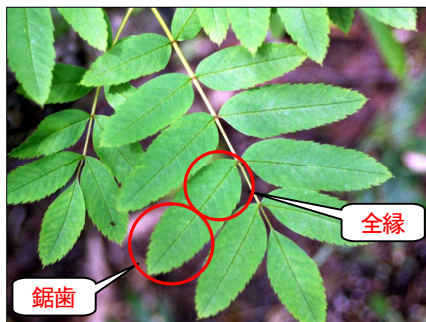
ウラジロナナカマド

バラ科 ナナカマド属 (落葉低木)

学名 : *Sorbus Matsumurana* 英名 : (Mountain-Ash)



花



鋸歯

全縁



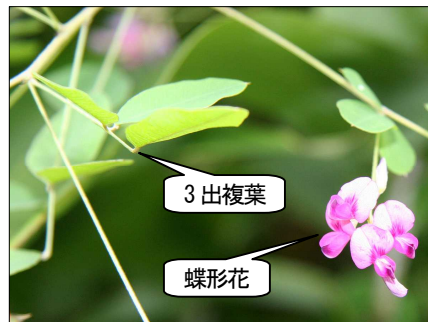
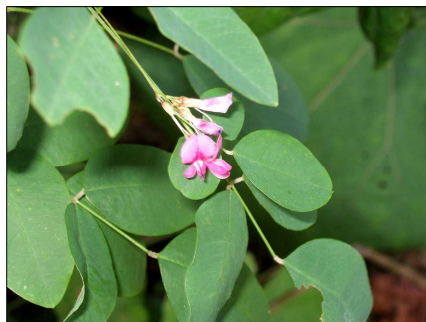
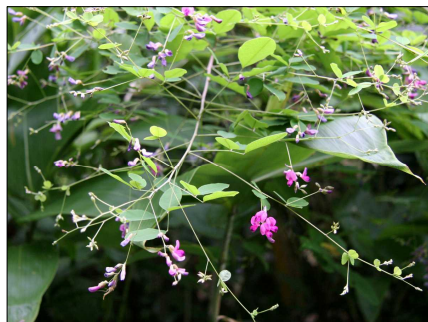
上向きの実

- ・ 亜高山帯から高山帯に生育する
- ・ 葉 : 互生、羽状複葉、長だ円形の小叶9~11枚、小叶の中部以上が鋸歯縁、以下は全縁
先端は円いかやや尖る、下面は粉白色
- ・ 花 : 複散房状花序に白色
- ・ 果実 : 球形~広だ円形、上向きにつく
- ・ 葉痕 : 三日月形またはV字形

エゾヤマハギ

マメ科 ハギ属 (落葉低木)

学名 : *Lespedeza bicolor* 英名 : (Bushclover)



3出複葉

蝶形花

- ・ 山野の道路沿いなどに生える、高さ約2m
- ・ 葉 : 3出複葉、小叶は広倒卵形で先は円い、裏面は微毛あり、やや白色、互生
- ・ 花 : 長い総状花序に紅紫色の蝶形花をつける

ヤマウルシ (キウルシ)

ウルシ科 ウルシ属 (落葉低木)

学名 : *Rhus trichocarpa* 英名 : (Varnish tree)

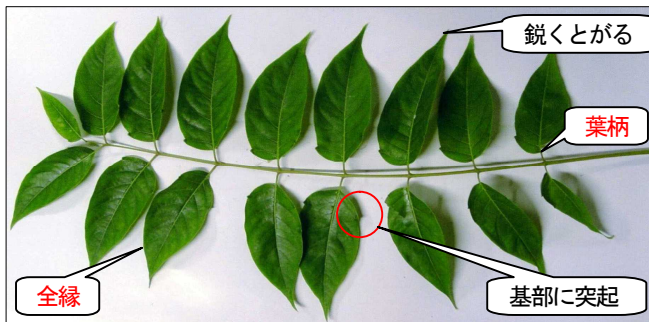


- ・葉 : 互生、奇数羽状複葉、葉柄・葉軸は赤褐色
卵形の小叶 11~17枚、先は尖り、ふちは全縁か不揃いの鈍鋸歯
基部は広くさび形から斜切形、両面に短毛がある
- ・花 : 雌雄異株、円錐花序に淡黄色から淡黄褐色
- ・果実 : 偏球形、黄褐色毛を密生する
- ・春の新葉は枝先に集まって立ち上がり、葉軸が赤褐色で目立つ、紅葉も赤くなり美しい
- ・体質によってかぶれるので要注意

シンジュ (ニワウルシ)

ニガキ科 ニワウルシ属 (落葉低木)

学名 : *Ailanthus altissima* 英名 : Tree of heaven (中国北中部原産)



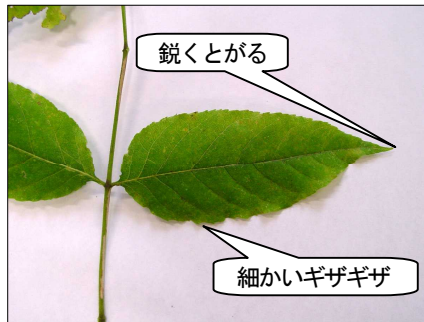
- ・葉 : 互生、奇数羽状複葉、卵状だ円形の小叶 (13~25枚) で基部の両側に突起がある
先端は鋭く尖る、ふちは全縁、葉柄あり
- ・冬芽 : 互生、いぼ状または半球形で先端は円い、2~4枚の芽鱗、仮頂芽は側芽とほぼ同形
葉痕は心形で特に大きい

ニガキ

ニガキ科 ニガキ属 (落葉低木)

がくめい

学名 : *Picrasma quassioides*



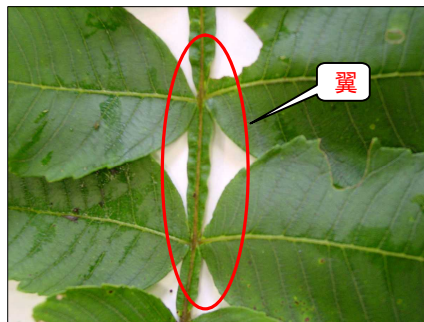
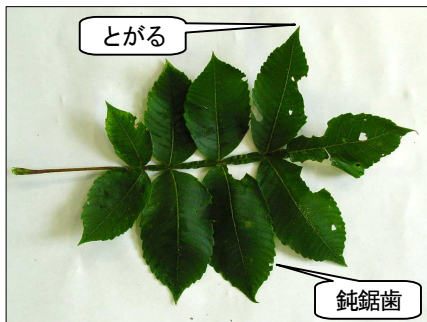
- ・葉 : 互生、奇数羽状複葉、小葉は卵状の長だ円形で9~13枚、無柄
葉先は鋭くとがり、基部は円い、ふちは鈍鋸歯
- ・幹 : 始めは平滑で、のちに縦に裂ける、暗褐色、内皮は胃腸薬として利用、苦い
- ・冬芽 : 互生、球形で先端は丸い裸芽、頂芽は側芽より大きい、葉痕は半円形~だ円形
- ・枝や葉が苦いので、「苦い木」→ニガイ木→ニガキ

ヌルデ (フシノキ)

ウルシ科 ウルシ属 (落葉低木)

がくめい

学名 : *Rhus javanica* 英名 : (Sumac)

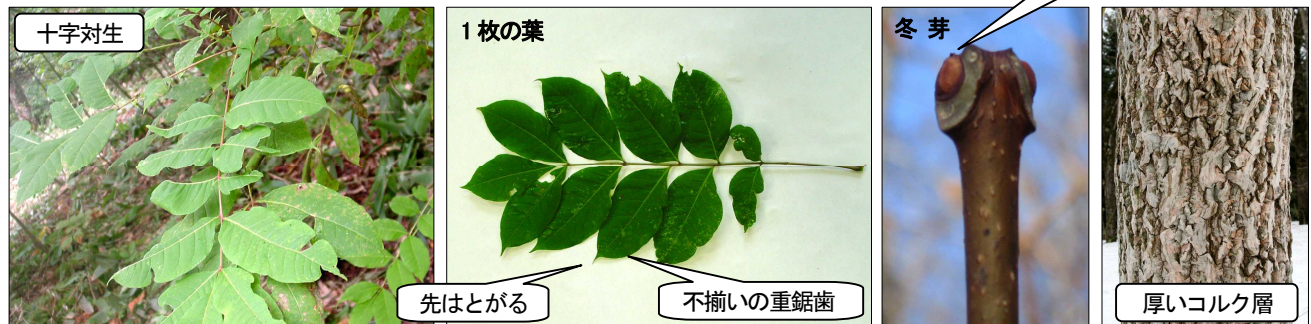


- ・葉 : 互生、奇数羽状複葉、小葉はだ円形で9~13枚、鈍鋸歯縁、先端は鋭く尖る
小葉と小葉の間に翼がある
- ・花 : 雌雄異株、円錐花序に黄白色の花
- ・冬芽 : 互生、半球形状、軟毛を密生、3~4枚の芽鱗
仮頂芽は側芽とほぼ同形かやや大きくなる、葉痕は馬蹄形またはU・V字形
- ・キズをつけると白い樹液

キハダ (シコロ)

ミカン科 キハダ属 (落葉高木)

学名: *Phellodendron amurense* 英名: Amur cork-tree



- ・葉: 十字対生、卵状長円形の小叶で、奇数羽状複葉、基部は広くさび形か円形。先は尖り、一見、全縁に見えるが、ふちは不揃いの重鋸歯。葉の軸に沿って短い毛、小叶の付け根に白い毛、小叶に葉柄あり。
- ・幹: 灰褐色で厚いコルク層、深く密に縦に裂ける、内皮は黄色で苦い (胃腸薬、オウバク)。
- ・冬芽: 対生、半球形状で先端はやや丸く、枝先に2個の目玉、茶色、2枚の芽鱗。頂芽は側芽よりやや大きい、葉痕は深いU字形。

ヤチダモ (タモノキ)

モクセイ科 トネリコ属 (落葉高木)

学名: *Fraxinus mandshurica* 英名: (Ash)



- ・葉: 狭長円形の小叶が、7~11枚の奇数羽状複葉、小叶は幅が広くて先が急に細くなる。ふちは細かい鋸歯、葉のつけねの裏側に茶色の毛、小叶は無柄。
- ・幹: 皮は灰白色~灰褐色、浅く縦に裂ける、枝が太い。
- ・冬芽: 枝の先に三角形または円錐形でやや尖った頂芽を1個、側芽は対生、2枚の芽鱗。頂芽は側芽より大きい。
- ・材の強度が高く、曲げても折れない「撓む木」→ タムキ → タモノキ → タモ。湿地に生えるタモ → ヤチダモ。
- ・アイヌ伝説: 「ヤチダモは、森の中でもっとも背の高い木で、森の守り神のフクロウはこの木の上で人間界に悪魔が近づくのを見張った」。

アオダモ (コバノトネリコ)

モクセイ科 トネリコ属 (落葉高木)

学名 : *Fraxinus lanuginosa* 英名 : (Ash)

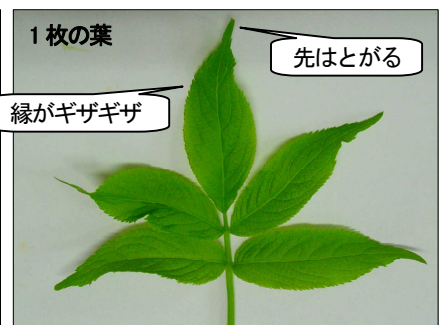


- ・葉 : 長だ円形の小葉が3~7枚つく、奇数羽状複葉、十字対生、ふちはギザギザの鋸歯
- ・幹 : 皮は青色をおびた灰色
染料、アイヌの人達がイレズミに利用した→アオダモ
- ・冬芽 : 枝の先端に頂芽を1個、側芽は対生、広卵形または卵形で先端は尖る、2~4枚の芽鱗、頂芽は側芽より大きい、紫色
- ・材がきわめてねばり強く、曲げて折れない、野球のバットの材料
「撓む木」→タムキ→タモノキ→タモ

エゾニワトコ

スイカズラ科 ニワトコ属 (落葉低木)

学名 : *Sambucus racemosa* 英名 : Red-berried elder



- ・葉 : 奇数羽状複葉、対生、長だ円形の小葉5~7枚
ふちは鋸歯、先は鋭く尖る、葉柄あり
- ・花 : 黄白色、多数集まる、実は赤くなるのが早い
- ・冬芽 : 頂芽は2個、側芽は対生、4~6枚の芽鱗、
混芽は卵形、葉芽は卵状だ円形で先端は尖る
- ・ニワトコの古名「ミヤツコギ」は「宮仕う木」
神前に捧げた木幣の材料 : ミヤツコギ→ミヤトコ→ニワトコ
- ・「庭に植える五加木 (ウコギ)」→ニワトコ



サンショウ

ミカン科 サンショウ属 (落葉低木)

学名 : *Zanthoxylum piperitum* 英名 : (Prickly-ash)

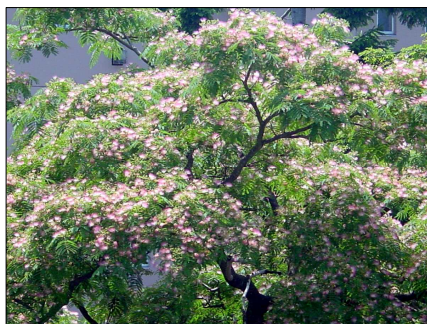


- ・葉 : 互生、奇数羽状複葉、小葉は11~19枚、卵状長円形、先は鈍頭~やや尖る基部は円い、ふちは低い鈍鋸歯で波打つ、トゲは托葉針で対生(2本)葉にさわると強い香り(香辛料)、アゲハチョウの幼虫が葉を食べる

ネムノキ

マメ科 ネムノキ属 (落葉高木)

学名 : *Albizia Julibrissin* 英名 : Silk flower



- ・葉 : 互生、偶数2回羽状複葉、羽片(羽葉)は対生で10~24枚、小葉は対生で36~58枚
ほうちょう形、下面は粉白色、暗くなると葉を閉じる
- ・花 : 枝先に総状の頭状花序を2~数個、花弁は淡紅色、夕方開く
- ・冬芽 : 球形~いぼ状、互生
- ・本州以南、中国、南アジアに広く分布、熱帯のものが侵入したものであるが、日本では古くから確認されている

こうようじゅ
広葉樹

しょうじょうふくよう て かたち
◎掌状複葉：手のひらのような形

トチノキ

トチノキ科 トチノキ属 (落葉高木)

がくめい 学名 : *Aesculus turbinata* えいめい 英名 : Japanese horse chestnut



花



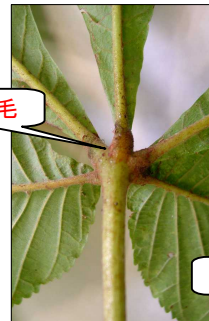
掌状複葉

やや波状の鋸歯

手のひら状の1枚上の葉



樹脂
べとべと



茶色の毛



冬芽

心形

- ・葉：掌状複葉、小葉は狭倒卵長だ円形で5~7枚
先端は急に尖る、ふちはやや波状の鋸歯
裏の葉脈上に茶色の毛、長い葉柄、対生、
- ・幹：樹皮は灰褐色、老木は大きな厚い片となり、はがれる
- ・花：白色で基部は淡紅色、5~6月開花
- ・実：茶色く、丸い、トチノミ（ドングリのようにとがらない）
- ・冬芽：枝の先端に長卵形で鋭く尖る頂芽を1個、側芽は対生、粘りのある樹脂がつく、
頂芽は側芽より大きい、8~14枚の芽鱗、葉痕は大きな心形または腎形
- ・七飯の大桁

コシアブラ（ゴンゼツ、アブラハウ）

ウコギ科 ウコギ属 (落葉高木)

がくめい 学名 : *Acanthopanax sciadophylloides*



掌状複葉



冬芽

- ・葉：掌状複葉、葉柄あり、小葉は倒卵状長だ円形で中央片が最も大きい、5枚
基部は鋭形、ふちは鋭鋸歯、先は急に尖る、小葉には葉柄がある、互生
- ・花：黄緑白色、花弁5枚、開出してそりかえる
- ・果実：球形でやや扁平、黒熟する
- ・冬芽：頂芽は円錐形
- ・樹脂液をとり、それをこして塗料に使ったのでコシアブラ（ゴンゼツは金漆で、その塗料のこと）

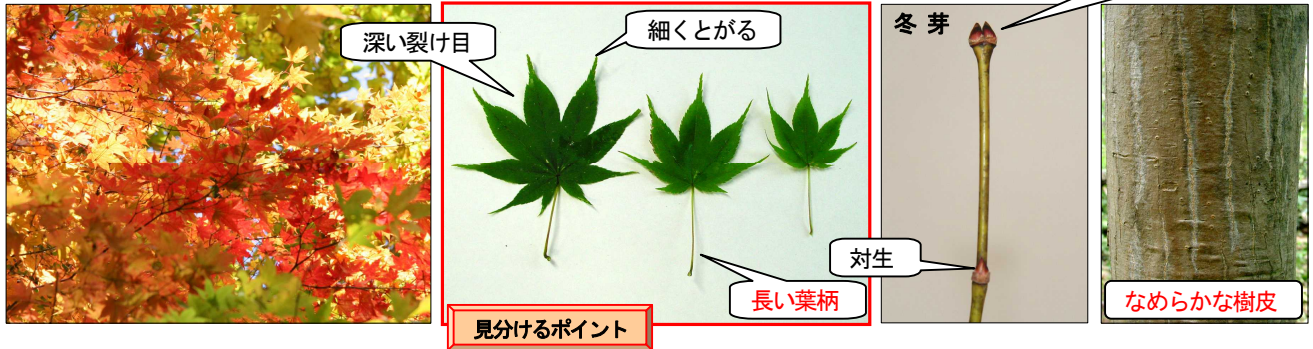
こうようじゅ
広葉樹

ぶんれつよう
◎分裂葉：モミジのような形

オオモミジ

カエデ科 カエデ属 (落葉高木)

学名：Acer palmatum 英名：(Japanese Maple)

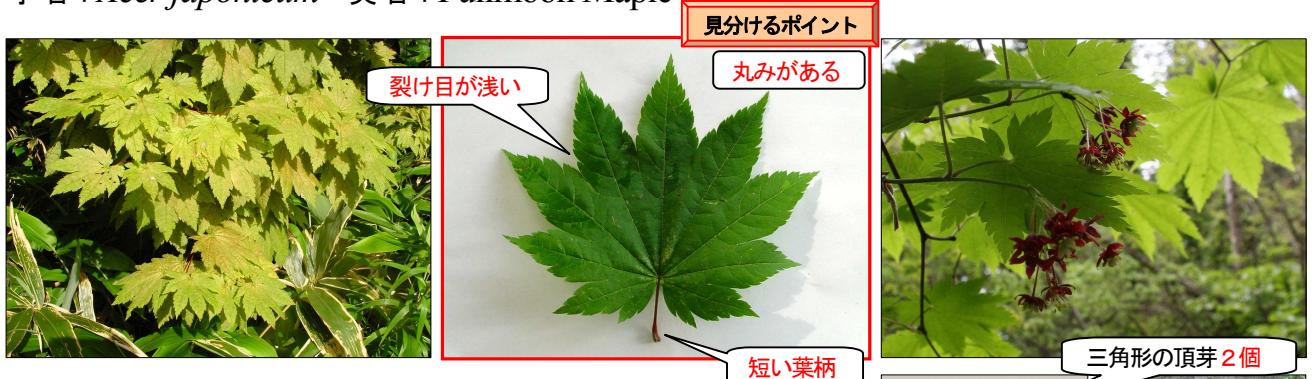


- ・葉：手のひら状 (6～9) に深く裂ける、先が細く長くとがる
ふちが小さなギザギザ (細鋸歯)、葉柄が長い、十字対生、落葉樹
- ・幹：樹皮はなめらか
- ・枝：先が二股に枝分かれしてのびる
- ・冬芽：対生、三角形で先端は尖る、2枚の芽鱗、仮頂芽は2個、側芽とほぼ同形
- ・紅葉する、草木が黄・赤色に変わることを「もみず」 → モミジ
- ・タカオカエデ (イロハモミジ) より一回り大きいので、オオモミジ

ハウチワカエデ (メイゲツカエデ)

カエデ科 カエデ属 (落葉高木)

学名：Acer japonicum 英名：Fullmoon Maple

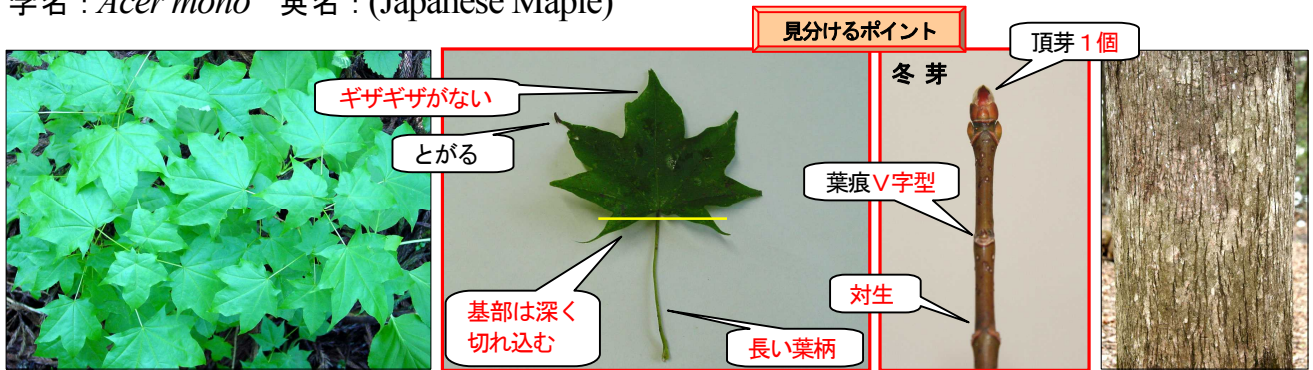


- ・葉：全体的に円みをおび、手のひら状 (7～11) に浅くさける
ふちは大きな粗いギザギザ (重鋸歯)、先が急に細くなる
基部は心形、葉柄が短い、秋には、きれいに紅葉する
- ・冬芽：対生、三角形で先端は尖る、4枚の芽鱗、
仮頂芽は2個で側芽とほぼ同形

エゾイタヤ (イタヤカエデ)

カエデ科 カエデ属 (落葉高木)

学名 : *Acer mono* 英名 : (Japanese Maple)



- ・葉 : 十字対生につく、手のひら状 (5~7) に裂ける、縁は滑らか、基部は切れ込む
先端は尾状に尖る、葉柄は長い、秋には黄葉する
- ・幹 : 皮は暗灰色をおび平滑、老木は縦に裂ける
- ・冬芽 : 枝の先端に頂芽1個、側芽は対生、卵形または広卵形で先端は尖る、6~10枚の芽鱗
頂芽は側芽より大きい、葉痕はV字形ではっきり
- ・メープル・シロップ (樹液が甘い)

アカイタヤ (ベニイタヤ)

カエデ科 カエデ属 (落葉高木)

学名 : *Acer Mono* 英名 : (Japanese Maple)



- ・葉 : 偏五角形、手のひら状に浅く5裂、裂片は短くて幅が広い、全縁
基部は浅心形~切形、葉柄は長い、若葉は紅紫色、秋には黄葉する